

平成21年度 第6回 鳥取市生活交通会議  
議事要旨

1. 日時 平成21年12月18日(金) 13:30~15:30
2. 場所 鳥取市役所 本庁舎6階 全員協議会室
3. 出席者
- |                                       |                                 |        |
|---------------------------------------|---------------------------------|--------|
| 会長                                    | 〔学識経験者〕 鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授 | 谷本 圭志  |
| 副会長                                   | 〔鳥取市〕 都市整備部長                    | 田中 政幸  |
| 委員                                    | 〔住民利用者代表〕 市自治会連合会(旧鳥取市,国府町,福部町) | 小原 保   |
|                                       | 〃 (気高町,鹿野町,青谷町)                 | 田中 勝昭  |
|                                       | 市老人クラブ連合会(旧鳥取市,国府町,福部町)         | 前田 豊   |
|                                       | 〃 (河原町,用瀬町,佐治町)                 | 岡村 博之  |
|                                       | 〃 (気高町,鹿野町,青谷町)                 | 三谷 忠俊  |
|                                       | 市連合婦人会                          | 油谷 都々江 |
|                                       | 〔運送事業者〕 日ノ丸自動車株式会社 取締役営業部長      | 中村 芳晴  |
|                                       | 日本交通株式会社 バス営業部次長                | 中嶋 敬治  |
|                                       | 西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸課長           | 三谷 宏志  |
|                                       | 県ハイヤータクシー協会                     | 橋本 貞治  |
| 〔運送事業者労組〕 私鉄中国地方労働組合 日ノ丸自動車支部 執行委員長代理 | 村上 恵                            |        |
| 〔中国運輸局〕 鳥取運輸支局主席運輸企画専門官               | 但住 和雄                           |        |
| 〔警察〕 鳥取警察署交通第一課長                      | 岡本 英治                           |        |
| 事務局                                   | 鳥取市都市整備部交通対策室(中村、鈴木、遠藤)         |        |

## 報告事項

### 高齢者バス運賃の優待制度について（案）

#### 【事務局が説明】

- 谷本会長 説明内容についてなにか質問は。
- 小原委員 市議会において質問された議員はいらっしゃったか。
- 事務局 6月、9月ともに入江議員が質問をされた。
- 小原委員 市の補助金は減少させていかなければならないと思うが。
- 事務局 新たな利用者の開拓により赤字を減らすことで、補助金も減らせると期待している。そういった意味でPRを十分にしなくてはいけないと考えている。
- 小原委員 老人クラブの方々の陳情で議会にまでかかっており、陳情した側にも大きな責任も伴うと思うので、そのあたりを重々認識されて十分利用していただきたいと思う。
- 谷本会長 PRはこの制度についてのみするのか。PRする機会があるのであれば、市が取り組んでいる他の地域の取り組み事例も同時にPRするチャンスではないかと思う。PRの予定は決まっているのか。
- 事務局 市報に掲載する予定である。あとは、総合支所を通じて周知を図る予定である。関係者が連携をとりつつより良いPRを目指す。
- 前田委員 経緯としては、会員の署名運動を行い、その結果をもとに関係機関にお願いした。現在、路線バス自体が都会における状況と異なる。通勤や通学で利用することも難しい。結局は社会弱者の足となっている色が濃いのも事実だと思う。また、調べたところ他都市では様々な取り組みがなされていたので、高齢社会課に相談し、割引制度をお願いした。ただ3割引では急速な利用増がないのかもしれないとも思っている。
- 谷本会長 とはいえ、期待もされていると思う。良い取り組みだと思うので、必要に応じて当会議でも議論できればと思う。
- 中嶋委員 知らなかった人がでないようにしていただきたい。バスの中に貼ったりということもあり得ると思う。

## 協議事項

### （1）乗合タクシーの実証運行について

#### 米里線について

#### 【事務局が説明】

- 谷本会長 基本的な事項は、前回会議結果をベースになっていると思うが、非常によい取り組みであると思っている。ルート・時刻・料金ともに改善されているとともに、住民・事業者・行政、誰にとっても問題が少ない内容だと思う。
- 中嶋委員 桜谷口は主に買い物利用者対応だと思うが、帰宅便は買い物時間を考慮しているのか。
- 事務局 買い物時間を1時間程度と想定して設定している。仮に乗り遅れた場合も、次の便で西大路口から利用することが可能である。

中嶋委員 収入はいくらか。  
事務局 トータルで4万円程度の収入であった。  
谷本会長 では、この案で運行内容を変更するということによろしいか。  
一 同 異議なし。

#### 浜村青谷線について

##### 【事務局が説明】

谷本会長 利用されている方はどのような利用目的が多いか。  
事務局 通勤や病院利用が多いようである。  
谷本会長 上りと下りで利用状況が異なるようであるが。  
事務局 朝は利用し、帰りは時間が合わないので送迎というケースもあると思う。  
谷本会長 では、この案で進めるということによろしいか。  
一 同 異議なし。

#### (2) 湖山循環バス実証運行について

##### 【事務局が説明】

谷本会長 ルート改善案2で進めたいというのは、あくまで2月~3月の当面の対策であり、実証運行後の4月以降については引き続き検討していく必要がある。  
事務局 アンケートをもう少し詳細に分析し、早めに4月以降の運行案について提示する予定である。ある程度長期間運行しないと定着しないと思われるので、利用促進を図りながら何とか継続運行したいと考えている。  
村上委員 湖山駅起点ではなく布勢起点とするのもあり得るのではないかと思います。実際運転してみて、朝利用していない方で夜に鳥商付近から布勢方面へ利用される方がいる。これらの方は朝はおそらく送迎されていると思う。始発が湖山駅を8時出発だと利用できないということもあるのではないかと。  
事務局 様々なパターンを検討し、また提示させていただく。  
中嶋委員 例えば、当会議で決議しまったことが市議会で否決された場合はどうなるのか。  
事務局 可能性は低い但事業ができないということになるので、そういったことが無いように十分に説明させていただく。  
小原委員 今、国の財政が見にくい状況になっているが、実証運行についても予算はどのような方向性になるのか、何らかの情報がほしいと思っている。  
但住委員 ご心配をおかけしているが、こちらにもなかなか情報が来ないというのが現状である。ただ、計画的に行っていく事業、必要性が高い事業は優先的にやっていくという方向性はあるようなので、優先度が高いものとしてなんとか後押しできればと考えている。

谷本会長 本来、来年度の事業の話もこの場ですべきだが、先行きが不透明な状況では議論できる段階ではない。とりあえず、2月～3月でできる範囲で議論しなくてはならない。

事務局 地元からは、50円の回数券を地元の補助で作成することも考えていると話もある。具体的な方法も含めて事業者と相談し、利用促進を図れればと考えている。

田中副会長 収支比率はどのくらいか。

事務局 ひと月で費用が約120万円で、比率では1割弱である。

田中副会長 どのくらい利用を増やす必要があると考えているか。

事務局 1便当たり5人は利用していただきたいと考えている。5人で比率は約25%となる。

田中副会長 くる梨の収支比率は今約40%、気高循環は2割。このままだと継続は難しいのでは。

谷本会長 現在、湖山循環バスを高い頻度で走らせているのは、どの時間帯に利用が多いかを把握するため。だからこそ実証運行である。利用が少ない便もあるので、4月以降継続するのであれば、便数は積極的に間引く必要があると思う。それは「減便する」という表現は適当ではなく、今は適切な便数を検討している段階である。いずれにせよ、現在の運行内容で継続することはありえないと思う。

田中副会長 改善案2だと運行費は変わるのか。

事務局 人件費は変わらないが、燃料費が少し変わる。ただし、人件費が大きいので総額に大きな影響はない。

村上委員 道路も問題ないし、バス停、時間的にも運行するのはそれほど難しくないと思う。

中村委員 4月以降新たなルートで運行しようとする、2月中には結論を出す必要がある。そのあたりはどのように考えているのか。

事務局 1月中には事業者と相談し、2月中旬くらいには当会議にかけさせていただければと考えている。

谷本会長 では、この変更案で進めるということによろしいか。

一同 異議なし。

その他

谷本会長 予算等について来年度以降の話は、いつくらいにわかるのか。

事務局 次回会議でお話しできればと考えている。

以上